



「左義長in鳴門西」と昔の遊び



平成31年1月13日（日）、鳴門町高島の鳴門西小学校運動場で、しめ縄などの正月飾りを燃やす恒例行事「左義長」が行われました。竹や木を組んで正月飾り等を焼き、その火で焼いたお餅を食べるとその年の病を除くと言われています。

その後、昔の遊びを体験できるコーナーも設けられ、子どもたちは、地域のみなさんと一緒になつかしい様々な遊びを体験することができました。



正月飾りの金具などを取り除きます。



点火されるのを今か今かと待っています。



左義長は、「三稜杖（さぎちょう）」という小正月に行われる火祭りの行事



焼きたてのお餅が入ったぜんざいで、暖をとり、同時に無病息災を願います。